

BK

BUSINESS KAGAWA

# おかげさまで3周年! ビジネス香川®

(株)メディアコア香川

〒760-0018 高松市天神前2-1 朝日新聞高松ビル4F  
総合受付/TEL.087-812-2855 FAX.087-812-2688  
e-mail bk-info@asaori-t.co.jp

編集室/TEL.087-837-2814 FAX.087-837-2805

ビジネス香川

検索

ビジネス香川は発行部数10万部。香川県内の日本経済新聞(一部地域除く)と、朝日新聞の購読者に新聞挟み込みでお届けしています。

VOL.50  
2010 6.3次回の発行は  
6月17日(木)の予定です。

NIKKEI

日本経済新聞ご購読のお申し込みは  
0120・21・4946

朝日新聞

朝日新聞ご購読のお申し込みは  
0120・22・0843

香川 再び発見<16>「瀬戸の海」 今夏は海に注目だ。6月13日までは「船の祭典2010」、7月19日からは「瀬戸内国際芸術祭2010」。地元にとってはあたりまえすぎる海の存在だが、大小の島々、行き交う船の姿、そして海の美しさ……、瀬戸内海を改めてじっくり見つめる機会となりそうだ。与島にて。 photo by H.Ninomiya



## 「子育ての不便」を 地域につないで 「便利」をつくる

PRIME PERSON プライムパーソン

わははネット 理事長

中橋 恵美子さん

「子育てが楽しいなんて、ウソ。もつと外に出て自分の世界を広げよう。そうすれば明日の子育てはきっと樂しくなる」……出産経験あり、出版経験なしのスタッフによる手づくり情報紙「おやこDEわはは」が、子育てに悩む若い主婦の共感を呼んだ。1999年、仲間を募って「NPO法人わははネット」を立ち上げた理事長の中橋恵美子さん(41)は、子育ての不安を、情報誌と携帯メール、井戸端会議の場でつなぐ「子育て支援ビジネス」を成功させ、タクシー会社と協力して母子に優しい「子育てタクシー」を全国に普及させた。

「子育ての不便」を「便利」に変える発想力と行動力を立ち上げた理事長の中橋さん。後ろを企業や行政が追いかける。(社会起業家)社会変革と収益事業を両立させて起業する人。

インタビュー・編集長 宮川栄之助 撮影・編集部 渡辺直希

2面に続く



朝日ビジュアルシリーズ 植物と暮らす幸せをみつけたい人のための園芸マガジン

週刊

ベランダでも楽しめる

野菜づくり

花づくり

- 特色 1 手とり足とり栽培ポイントを教えます
- 特色 2 初心者でも中級以上にレベルアップ!
- 特色 3 つくった野菜をおいしく食べるレシピ
- 特色 4 あの人気ガーデナーの庭を大公開!
- 特色 5 すぐに使えるエコな暮らしのアイデア

全30冊

毎週木曜日  
好評発売中!

定価580円(税込み)

## 子育ては、みんな不安

発想力と行動力の原点は、16年前の子育ての不安体験だ。茨城県つくば市で、初めての子育てに戸惑った。「なぜ子どもが泣いているのか、食べてくれないのか分からぬ。外出先は近所のスーパーと公園。化粧もしれない、ストッキングもはかない」日が多くなりました。

小さな生き物に振り回される自分と、おかしいぞと感じるもうひとりの自分がいた。3年後香川に戻つても同じだった。

外に出て自分の世界を広げようと、仲間と子育て情報誌を創刊した。編集室にいた自宅のFAXがぐるぐるまわり、郵便受けから手紙がこぼれ落ちました。子育てに悩む若い主婦からの反響に驚いた。

## 子育ては、つらく、切ない

出産して会社に復職した女性の長い手紙があつた。

「ある朝、子どもの体が熱かった。休むと職場に迷惑がかかる。体温計を使うと熱がある」と分かるから、思い過ごしだと自分に言い聞かせて、保育園に預けて勤めに出た。昼過ぎに電話があつて「朝から熱があったんでしよう、ちゃんと見てやらないとダメでしよう」としかられた。病院で先生に、家で夫にしかられて謝つた。働きながら子育てしている私は、なぜこんなに頭を下げてばかりなんでしょう?」中橋さんは、「衝撃でした。ボランティア活動でいい気になつていた私は専業主婦です。仕事をしながら子育てする厳しさ、つらさを思い知らされたんです」。

中橋さんは、妊娠や母子の通院や送迎の不便をヒントに、「子育てタクシー」のアイデアをタクシードライバーに提案した。



ありのままの自分を  
受け入れてくれる、  
子育て支援の場を作りたいと思った

**PRIME PERSON**  
**中橋 恵美子**

## 子育てに優しいタクシー

中橋さんは、妊娠や母子の通院や送迎の不便をヒントに、「子育てタクシー」のアイデアをタクシードライバーに提案した。

介護タクシーは介護保険がつく。子育てタクシーは手間が掛かるが、割増料金はつかない。02年の規制緩和で競争が激化しているのに、男目線では、ニーズが見えなかつたのだろうと、中橋さんは言つ。

いすゞが綾川町国民健康保険陶病院に開設されました

子育ての切実な声を届けたら行政が動いた。達成感が弾みになつて中橋さんの関心は個人から地域社会へ、社会起業家へ向かつた。

(病児保育室)保育園に通つている子どもが風邪などの軽い病気につかり、集団保育が不可能になった場合、「その子どもを預かって世話をする施設。現在香川県内では、さぬき市・田中小兒科▽善通寺市・カナン子育てプラザ21にしかわクリニツク▽高松市・西岡病院・トビウメ小兒科病院・カナン保育園はらどもセンター・小林内科小兒科医院も加わり、計9カ所ある。

## 携帯メールがビジネスモデルに

09年度経済産業省のIT活用事業に、携帯メール配信サービス「わははメール」が指定された。ビジネスモデルのノウハウを、希望するNPO団体に移管させる事業だ。

補助金をもらつて携帯メール事業を始めたものの、赤字で困つているNPOが多い。組織が仲良しくラブ的運営で、ボランティアの営業活動は「悪」の意識があるからだと中橋さんは分析する。

なぜ「わははネット」が、補助金を一銭ももらわずに事業が継続できるか。横浜、京都、沖縄、福岡の4団体にノウハウを伝えた。

「他の組織との決定的な違いは、仲間と2人で200万円出資したことだと思います。出資者が意志決定権を持つて、事業を継続するための経費は、営業収益でまかないます」

広告収入による企業情報は、子育て主婦に共感してもらえる情報だけを選ぶ。イベント情報は、香川県を10ブロックに分け、子どもの年齢を月齢まで分けたきめ細かな情報だ。

## 「不確かな□コミニ・交流の場」をつくる

03年、井戸端会議の場「わはは広場」を開設したのは、情報誌や携帯メール情報に限界があるからだ。

「お母さんたちが欲しい情報は、あそこの幼稚園の先生がどうだとか、PTA活動が大変だどこそこの病院はこんな噂がある、などネガティブなものも含めた情報なんです」

良いことも悪いこともあります。口コミ情報の真偽を見極める能力をもつたためにも、人と触れ合う「井戸端」が必要だと中橋さんは言う。

「子どもたちの成長を喜び合い、本音で語り合え、悩みを相談し合う場です。支援されることもあれば支援者側になることもできる、ありのままの自分を受け入れてくれる、循環型の子育て支援の場を作りたいと思いました」

「わはは広場は、高松市の委託事業になつた。

(わはは広場)  
▽わははひろば高松/高松市大工町1-4 TEL 087-822-5589  
22-5582 ▽わはは子育て広場・ジャスコ高松店/高松市香西本町1-1 イオン高松ショッピングセンター TEL 087-822-5589 ▽わははひろば坂出/坂出市元町4-1-1 TEL 087-745-6586

最初に居住エリア、年齢、月齢とニックネームを登録すると、例えば、坂出市の1歳6ヶ月や、丸亀市の2歳6ヶ月の子どもの母親だけに役に立つ情報が届くようになります。マスマディアや企業からではない、メル友の「ミカちゃん」からのメールが届くのだ。

(IT活用事業)経済産業省 地域新事業創出発展基盤促進事業「子育て・まち育て・IT活用ハッピープロジェクト」(わははメール問い合わせ先 Mail:info@w088.jp) (ミカちゃん:わははメール発信者の愛称)

そこで04年、子育て主婦で花園タクシーの社長だった鎌野実知子さんと組んで「子育てタクシー事業」をスタート。06年、全国子育てタクシー協会を設立、現在は北海道から沖縄まで22道府県68社が加盟して、約850人のドライバーを育成して運行するまでになつた。

## 社会貢献の企業化

「子ども虐待のSOSがあつても、元日の午前1時に迎えには行けない。タクシーはそれができます。それを『子育ての不便』につなぐと、『子育てタクシー』になつたんです」

「わははメール」も「子育て広場」も国が後からついてきた。「子育ての不便」を「便利」に変える中橋さんは企業にも子育て主婦にもプラスになる仕組みづくり、「社会貢献の企業化」に確かな手ごたえを感じている。

「世間のしがらみやリスクがないから、前例がないことを面白がつてできる」夫の政彦さんに言われた。自分でもそのとおりだと思つていて。

「夫は現役を引退した柔道家で、2009年フランス、10年マルタ共和国であつた世界柔道形選手権大会で、2年続けて優勝したチャンピオンです」胸を張る。

政彦さんは塗装会社中橋産業株の経営者で、夫婦共に忙しい。「子育ても、夫婦の愛が基本です。毎月ゼロのつ10・20日30日を「ラブの日」にして、夫と過ごすと云い続けていますが、これだけはまだ実現していないとほほえむ。

家庭円満が中橋さんのエネルギーの源だ。子どもの虐待が多い、セックスレスが話題になる昨今だから、「ラブ」に触発されたサービスも、中橋さんは、実現するに違いない。

子育てタクシー三つのサービス

- 乳幼児と保護者が同乗する「かんがるーコース」  
チャイルドシートを設置してお迎えにいきます。
- お子さんが1人で乗る「ひよこコース」  
保護者の方がご予約のうえ、お迎え場所、送り先を指示いただき、お子さんをお迎えに行きます。
- 急なトラブル・夜中の移動などの「ふくろうコース」  
夜中のお子さまや保護者の急な病気やけがの場合の、病院への送迎、近親者のご不幸など、事前予約が出来ない場合。

全国子育てタクシー協会事務局(NPO法人わははネット内)  
TEL 087-816-5581 FAX 087-816-5582  
Mail info@kosodate-taxi.com



## なかはしえみこ

1968年/香川県生まれ  
89年/四国学院短期大学英語科卒業  
大成建設会社(株)四国支店入社  
92年/同社退社、結婚、つくば市に移転 出産  
95年/つくば市から坂出市に移転  
公職及び褒章  
・独立行政法人 国立女性教育会館運営委員  
・香川県社会教育委員  
・丸亀市:男女共同参画審議会委員  
・かがわ子育て支援県民会議委員  
・香川県福祉のまちづくり賞審査委員会委員  
2009年 につけい子育て支援大賞  
(主催 日本経済新聞社)  
ウーマン・オブ・ザ・イヤー2009  
総合部門7位、リーダー部門5位 受賞  
(主催 日経ホーム出版社)

## NPO法人 わははネット

高松市大工町1-4 TEL 087-822-5589 FAX 087-816-5582  
http://npo-wahaha.net

承  
法  
人  
代  
表  
目

認/2002年  
格/特定非営利活動法人  
者/中橋 恵美子

的/この会は、香川県内で子育てをする人々を対象に、子育てに関する情報提供をはじめとするあらゆる子育て支援を行い、男女参画社会の形成と大人も子どもも健全な生活を営めるまちづくりの推進を図る活動を目的とする。

監 事 数/1人  
有 給 役 員 数/15人  
事 務 局 員 数/5人  
事 業 内 容/子育て情報配信

子育て情報紙「おやこDEわはは」季刊2.5万部発行▷子育て情報携帯配信サービス「わははメール」会員数4000人(2009年度)▷つどいの広場「わはは広場」坂出・高松3ヵ所開設

## 沿革

1999年 4月/育児サークルわははネット設立  
子育て情報紙「おやこDEわはは」創刊  
2003年 3月/坂出市に「わははひろば坂出」開設  
6月/「おやこDEわはは」無料配布スタート  
年4回発行  
12月/「わははメール」配信スタート  
04年 3月/四国の子育て団体が協力して、「子どもとでかける四国あそび場ガイド」発行  
9月/高松市に「わはは広場」開設  
05年 3月/「子どもとでかける香川あそび場ガイド」発行  
06年 2月/「'06~'07子どもとでかける四国あそび場ガイド」発行